

**自然科学研究機構国立天文台
年俸制職員(太陽観測科学プロジェクト 特任専門員) 公募**

1. 募集職種・人員 年俸制職員(特任専門員)1名
 2. 所属部署 太陽観測科学プロジェクト
 3. 就業場所 東京都三鷹市大沢2-21-1
 4. 業務内容
 - 太陽地上観測装置のデータ処理システムの開発、データ検証
 - 海外データベース(VSO)へデータを提供するため海外機関との調整
 - 太陽観測科学プロジェクトの観測装置(三鷹フレア望遠鏡、野辺山強度偏波計)の運用
 5. 契約期間 2022年4月1日以降 から 3年間 (試用期間:採用された日から6か月間)
 - ※ 契約更新については、期間満了年度もしくは満了前6か月頃に判断される予定です。
 - ※ ただし、着任前6ヶ月以内に自然科学研究機構の有期雇用職員であった場合、契約期間は通算雇用期間が10年を超えないように設定されます。
 6. 勤務形態
 - 週5日(月～金勤務。土・日・祝日、年末年始(12/29～翌年1/3)は休日)
 - 始業時刻 8:30～終業時刻 17:15(休憩60分、週あたり38.75時間勤務)
 - 業務都合により時間外労働を命じることがあります。
 7. 待遇等
 - 給与は年俸制。概ね国立大学助教相当
 - ・職務内容、実績、経験等により決定した年俸額の12分の1の額を毎月支給
 - ・年度毎に業績評価を行い給与の見直しを行います。
 - 支給要件を満たす場合に通勤手当支給(上限55,000円/月)。賞与・退職金はなし
 - 文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入
 - 有給休暇(年次休暇、夏季休暇、忌引等)あり
 - 託児施設あり(生後57日～) ※状況によっては利用できない場合もあります
 - 敷地内禁煙(屋外に指定喫煙場所あり)
 - 着任に必要なと認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます
 - ※その他詳細は自然科学研究機構の規程による。
 8. 応募資格
 - 大学・大学院等において研究目的で天文観測、天文データ解析、天文観測装置開発などの経験があること
 - プログラミング言語により観測データの解析と解析ソフトの開発を行えること(UnixとWindowsの計算機を自ら運用しプログラムを作成することを業務の中で行ってもらう)
 - 英語でのコミュニケーションと電子メール等でのやりとりができること
 9. 選考方法 書類選考及び面接(対面又はオンライン)による選考
 10. 提出書類
 - 履歴書(写真貼付)、迅速に連絡がとれる連絡先(Emailアドレス、電話番号)を記載のこと
 - これまでの研究・業務経験と実績、抱負をまとめた文書(A4 2～3ページ程度)
 11. 応募締切 2022年 2月7日(月) 日本時間 正午必着
 12. 提出方法
 - (ファイルアップロード)
 - 下記URLの申請フォームに必要事項を入力し、送信してください。
<https://forms.office.com/r/B7D7chsTmU>
 - 回答後、必要書類アップロードURL等の情報を記載した通知メールを送ります。
メールの記載に従い、応募締切までに必要書類をアップロードしてください。
- 注意点:
- ・申請フォームで送信した後、祝休日を除き3日以内に通知メールを送ります。通知メールが届かない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。
 - ・通知メールが迷惑メールに振り分けられないようご確認ください。
 - ・PDFは1ファイル最大50MB、トータル100MB、最大10ファイルまでとしてください。
 - ・応募書類のアップロードを確認後、祝休日を除き3日以内に受領確認メールを送ります。メールが届かない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。

13. 問合せ先

(応募に関する内容)

国立天文台 事務部総務課人事係

TEL : 0422-34-4014

E-mail : jobregister-contact-10_AT_nao.ac.jp

上記メールアドレスの“_AT_”を@に置き換えて送信してください。(以下同様)

(職務内容に関する内容)

国立天文台太陽観測科学プロジェクト 勝川行雄

E-mail : yukio.katsukawa_AT_nao.ac.jp

14. 注意事項

- ・ 応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任を持って破棄します。
- ・ 面接に要する費用（交通費等）は応募者の自己負担となります。

15. 募集者名称

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

16. 備 考

- ・ 本職は日本育英会奨学金返還免除職非該当です。
- ・ 自然科学研究機構は男女共同参画推進に取り組んでいます。
国立天文台における男女共同参画社会の実現を目指した取り組みについては、下記リンクをご覧ください。
<https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/>